

京都工芸繊維大学×チェンマイ大学
国際連携建築学専攻
ジョイント・ディグリー・プログラム

出願期間 - 【3×3 特別入試】2025年5月7日～5月13日
【大学院一般入試(第Ⅰ期)】2025年6月19日～6月26日

試験日 - 【3×3 特別入試】2025年5月31日
【大学院一般入試(第Ⅰ期)】2025年8月20日、21日

渡航期間 - 2026年8月～2027年1月(予定)

奨学金 - 最大月額120,000円×6カ月、渡航支援
100,000円に申請できます。(要件あり)
※奨学金は令和7年度の支援内容です。
変更となる場合があります。

JOINT DEGREE



参加するには、本学大学院博士前期課程 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻への入学が必要です。

【3×3 特別入試(※)】・【大学院一般入試(第Ⅰ期)】にて同専攻へ出願してください。

出願にあたっては、専攻長と希望指導教員にあらかじめ連絡し、研究内容や修了要件(査読付き論文の有無等)について確認してください。

※3×3 特別入試は京都工芸繊維大学工芸科学部デザイン・建築学課程に在籍している学生のみ出願できます。

ARCHITECTURE THAILAND

問合せ先

国際連携建築学専攻長

高木真人 教授 mtakagi@kit.ac.jp

入試課

大学院入試係 innyushi@kit.ac.jp

プログラムの詳細や
留学スケジュールは[こちら](#)から!



大学院入試最新情報は
[こちら](#)から!



International Students are
welcome to join the program!



チェンマイ大学 Chiang Mai University

タイ北部の古都チェンマイにある1964年創立の国立大学です。タイのみならず、ASEAN北部地域における主要総合大学として、近隣諸国からも多数の留学生を受け入れています。キャンパス内には本学オフィスがあり、医学部、理学部との交流も含め大学同士の連携体制が確立しており、安心して留学できます。

- ❑ 建築設計学と都市・建築再生学を中心とした分野の共同教育プログラムです。
- ❑ 国際的に通用する建築計画・設計力・都市・建築の再生・リデザイン力を育み、総合的かつ論理的に思考する能力を養います。
- ❑ タイならではの文化的背景を踏まえた授業を英語で学修し、多様な民族・宗教から成る社会で異文化適応力を鍛えます。
- ❑ 建築需要の大きな東南アジア圏に身を置く経験は、将来建築業界で活躍する際に大きく資するものとなります。

KIT & CMU 国際連携建築学専攻																														ーアカデミックカレンダー											
 京都工芸繊維大学の学生【KIT】	学年	1 年次														2 年次																									
	時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4															
	場所	KIT にて				CMU にて								KIT にて																											
	内容	専門科目を履修				共同開設科目の履修(CMU)国際共同設計実習A		専門科目を履修								共同開設科目の履修(KIT)国際共同設計実習B		専門科目を履修 【修了研究】 論文 or 特定課題に取り組む														両大学共同学位審査		学位授与							
		【連携専攻入学】																																【連携専攻修了】							
 チェンマイ大学の学生【CMU】	内容							専門科目を履修								専門科目を履修		専門科目を履修 【修了研究】 論文 or 特定課題に取り組む														両大学共同学位審査		学位授与(1月)							
	場所					CMU にて														KIT にて							CMU にて														
	時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			1												
	学年					1 年次														2 年次																					

参加学生の声

本プログラムへの参加で日本・タイ両国で建築設計・再生を実践的に学ぶことができました。チェンマイ大学では学生4人に対し先生4人の充実した環境で、タイの特徴的な住宅の研究を行ったり、現地の気候風土に合わせた設計課題に取り組んだりしました。両国のサポート体制も整っており、不安や不便を感じず、楽しく海外生活を送ることができました。その後タイでの経験を活かし、オランダの建築事務所で8ヶ月間のインターンシップを行い、日本・アジア・西洋の3つの視点を得られました。各国で様々な経験から都市に関わる軸で就職活動を行い、現在は留学先で得た建築や都市に関する知識を都市開発の仕事に活かしています。

(2018年度生)



本プログラムでは、日本とは異なる気候と文化、生活を直に体感できたことが印象的でした。授業は、設計実習とリサーチ、講義形式のものが各一つで、自然環境に呼応する建築的工夫や伝統的建築からの学び、現代技術と伝統技術の統合手法など特徴ある内容でした。少人数クラスのため、日本での授業とは異なり、教員と直接意見交換できる機会も多いです。プログラムには授業だけではなく、遠足やフィールドトリップもあり、チェンマイのみならず周辺地域の暮らしに触れる機会もありました。

半年間の現地滞在では、大学内のみならず大学外の人との交流もあります。タイで知り合った友人達と、空き時間には街を歩いたりたくさんあるマーケットに出かけたりするなど自由に過ごせました。授業や友人との交流は、基本的に全て英語で行います。始めはハードルが高く感じましたが、回数を重ねるごとに話すことに慣れていきました。

授業だけでなく、日常生活でも色々な経験と体験が溢れているので、少しでも興味があれば挑戦してほしいです！

(2022年度生)